

平成27年度 前期開講 期間: H27 7/1~9/30

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

節電法概論Ⅰ

担当教員 ワニ博士

【教材】研究室・日常で使える
**ワニ博士の節電ステッカーを
研究室に配布中!**

※希望者多数の場合は
先着順

希望研究室は、代表者が
環境・エネルギー管理課(内線[吹]4883)まで
ご連絡ください。

エアコン消して 涼しいところに集まろう?

**COOL
SHARE**

＼今年の夏も!／

節電にご協力お願いします。

た た か い
節電の**時**が**来**た。**深刻な状況です。**

大阪大学では、さまざまな省エネ活動を通して、教育・研究活動を妨げない省エネルギーに努めています。今夏の取り組みとして、7月1日から9月30日まで夏季の節電・省エネ計画を実施しています。節電・省エネの一層の推進を図るには、一人ひとりの節電意識を高め、全構成員が、出来ることから節電・省エネに取り組む必要があります。また、近年の電気料金値上げの影響により、エネルギーコストが増大し、本学にとって深刻な状況になってきています。

【夏季の節電・省エネ計画】

「平成27年度夏季における大阪大学節電・省エネ計画」を掲げ、教職員や学生を含むすべての構成員で推進しています。

1. 計画内容

計画期間：

平成27年7月1日～平成27年9月30日

計画目標値：

ピーク電力の削減（平成22年度比10%削減）

2. 主な取組事項

- ・執務室、研究室、廊下など支障のない範囲で照明の間引き
- ・使用していない部屋の空調や照明 OFF
- ・スイッチ付近に消し忘れ防止シールを貼付
- ・OA 機器等の待機電力の抑制
- ・実験用冷凍、冷蔵庫等の整理及び集約化
- ・不使用時の実験機器等の可能な限り電源の停止
- ・24時間稼働機器の運転見直し
- ・室温28℃を目安に冷房温度を調整
- ・ブラインドやよしず、扇風機等の積極的な利用
- ・空調機フィルターの清掃
- ・便座ヒーターの停止 他

3. 節電対策のポイントは「24時間稼働機器」

大阪大学では、人の活動に関係無く常時稼働している「24時間稼働機器」(例えばサーバーや冷凍・冷蔵庫・フリーザー、実験機器等)が年間電力消費の約8割を占めており、これらの機器の運用改善を行うことは、大きな節電効果があると考えています。

※詳しくは、環境・エネルギー管理部ホームページ『平成27年度夏季における大阪大学節電・省エネ計画』をご覧ください。

【 増え続けるエネルギーコスト 】

大阪大学は、エネルギー消費の85%を電力に依存しています。

1. 電力単価1円値上げで2億円増

大学全体で1年間に約2億kWhの電力を使用します。電気料金単価が1円値上げすると約2億円電気料金が増加します。今年度も5月に再生可能エネルギー発電促進賦課金が約1円値上げとなり、10月には電気料金単価が約2円値上げとなる予定です。

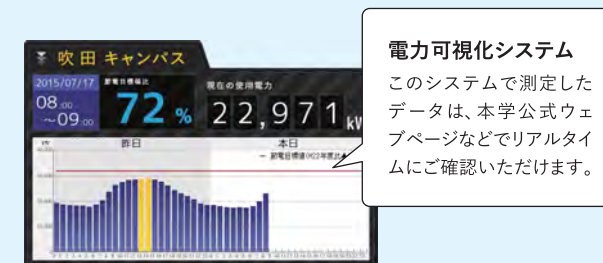
2. 電気料金が5年間で2倍

平成25年度以降、建物面積は増加していますが、使用電力量はほぼ同量となっています。しかしながら、電気料金は急激に増加しています。

平成24年度に比べ、平成25年度から平成29年度の5年間で、電気料金は約2倍となる見込みです。

3. 本学の深刻な状況

電気料金の急激な増加により、各研究室への運営費交付金配分額が減額される等、教育・研究活動に深刻な影響を及ぼし始めています。



【省エネルギー・節電に関する連絡先】
大阪大学環境・エネルギー管理部(本部棟4階)
TEL:06-6879-4883 FAX:06-6879-7138
kankyou-kikaku@office.osaka-u.ac.jp
<http://www.eem.osaka-u.ac.jp/HP/>